

大浦神社本殿、祝詞殿・幣殿及び拝殿、鳥居



(写真提供: 浅口市教育委員会)

指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	おおうらじんじゃほんでん、のりとでん・へいでんおよびはいでん、とりい
所在地	浅口市寄島町
登録年月日	令和1年9月10日
解説	<p>本殿は境内後方の高い基壇上に昭和2(1927)年に再建され、平成27(2015)年に改修されている。平面規模は、およそ東西5.4m、南北4.8m、面積26㎡を測る。入母屋造(いりもやづくり)銅板葺で、正面に千鳥破風(ちどりはふ)、向拝(こうはい)は唐破風(からはふ)付きである。臺股(かえるまた)や木鼻(きばな)に精巧な彫刻を施す近代の大型社殿である。</p> <p>祝詞殿・幣殿及び拝殿は、昭和2年に大改修されているが、江戸後期～末期の様式を保っている。入母屋造銅板葺の拝殿(面積約77㎡)と祝詞殿(面積約44㎡)を前後に配置して幣殿(面積約29㎡)でつなぐ権現造(ごんげんづくり)風の外観である。全体に端正なつくりで、拝殿正面の向拝を霊獣の彫刻で飾るなど、厳かな景観を演出している。</p> <p>鳥居は昭和2年建築で、柱間4.5m、高さ6.5m、足元径0.6mを測る花崗岩製明神鳥居である。扁額の「大浦神社」は犬養毅の揮毫によるものである。</p>
アクセス方法	<p>[車]山陽自動車道「鴨方」インターチェンジから南へ約15分</p> <p>[公共交通]JR山陽本線「鴨方駅」もしくは「里庄駅」から車で南へ約10分</p>
公開状況	外観のみ
設備	<p>駐車場  トイレ </p>
備考	

きつずページ



(写真提供: 浅口市教育委員会)

していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	大浦神社本殿、祝詞殿・幣殿及び拝殿、 鳥居
よみかた	おおうらじんじゃほんでん、のりとでん・へ いでんおよびはいでん、とりい
しょざいち (所在地)	浅口市寄島町
とうろくしたひ (登録した日)	令和1年9月10日
せつめい	本殿は昭和2(1927)年に再建され、平成27(2015)年に改修されました。昭和2年には鳥居も造られました。本殿は、細かな彫刻が多く見られる大きな社殿(しゃでん)です。また、昭和2年に大改修をされた祝詞殿・幣殿及び拝殿があります。これらは、江戸時代の終わり頃の特徴を保っています。